

提出 順番	No. 11	令和 8 年 5 月 29 日 午前・ <del>午後</del> 3 時 10 分受領
----------	-----------	---

令和 8 年 5 月 29 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 荒 貴賀 

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 増える負担、国民健康保険の今後について	<p>国民健康保険の加入者は、年金生活者や自営業者、フリーランス、非正規雇用労働者といった低所得者層が多く、他の医療保険制度と比べてもその負担はとりわけ重くなっています。特に、収入のない子どもにも課される「均等割」は、子育て世帯や多子世帯の重い負担となっており、協会けんぽなどの被用者保険にはない特有の仕組みです。さらに、国保の都道府県化に伴い、令和12年度に向けて進められている「納付金ベースでの保険料統一化」は、加入者へのさらなる負担増につながるものが強く懸念されます。</p> <p>行政における各種の「基金」や「特別会計」は、財政法上の基本原則の例外規定として設置されているものですが、所得税法第12条に定める「実質所得者課税の原則」の精神に照らせば、その財源から生じる実質的な利益は、受益者である「住民・加入者」に還元されることが必要です。国保制度が社会保障として住民の命と健康、そして暮らしを守るという本来の役割を果たすため、今後の国保制度の運用について以下の点を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 令和12年度の全道保険料の統一へ向けた本町における一人当たりの保険税額の推移の見込みは。また、国保基金の積立理由とその活用は。</li><li>(2) 他の保険制度にあるが国保にない出産手当や育休給付金の制度創設の考えは。</li><li>(3) けがや病気の際の生活保障のために独自に傷病手当金の給付を行う考えは。</li></ol>

2 町内事業者への  
支援について

長期にわたる経済の低迷が続く中で中東情勢の悪化が地域経済に多大な影響を及ぼしています。特に町内事業者は燃油や資材の高騰だけでなく、供給不足を招き、困難な状況にあります。北海道商工会連合会が実施した緊急アンケートでは「ビニール製品も高騰で品薄や仕入れが困難」（建設業）、「シンナーも塗料も調達できない」（塗装業）、「包装資材・梱包材も不足」（運送業）など、このままでは従業員の給与も払えず、事業が続けられないなど深刻な声が寄せられています。

町内事業者の現状を伺い、可能な支援策を講ずるべきと考えることから以下の点について伺います。

- (1) 町内事業者への聞き取り調査を行う考えは。
- (2) 危機的状況にある町内事業者に、給付金のような支援策のほか、税の徴収猶予や減免の考えは。
- (3) 幕別町小規模修繕契約希望者登録制度は、町が発注する小規模な修繕事業を町内の受注希望者へ発注することで、就業機会の確保と地域経済の活性化を図る目的として、平成20年度に創設されました。しかし、制度開始から約18年が経過した現在、対象となる契約の限度額は当時のまま据え置かれています。直近5年間の発注実績と、今後の見直しに対する町の考えは。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。